

# 事業報告書

【第4期】

平成28年度

自：平成28年4月1日

至：平成29年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

## 事業報告書 目次

I. 事業の概要.....	2
1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動.....	2
2. 日本語・漢字に関する調査および研究活動.....	4
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動.....	6
II. 漢字博物館・図書館の開館および本部事務所移転.....	13
III. 理事会・評議員会に関する事項.....	14
IV. 法人の課題.....	15
V. 後発事象.....	15

## I. 事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字がその根幹にあつて、文化の伝達と進展を支えてきました。本協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通じて日本文化の発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、国内および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

### 事業（定款第4条1項）

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
2. 日本語・漢字に関する調査および研究活動
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（1）～（6）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

#### （1）漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

日本語・漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の学びの動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する情報の収集や発信、展示を通して、漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学べる漢字ミュージアムを6月29日より開館しました。

本年度の来館者数は85,049人でした。

- ①開館日数：236日（2016年6月29日～2017年3月31日）
- ②開館時間：午前9時30分～午後5時
- ③休館日：原則、毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始
- ④利用料：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障害者
個人	団体	個人	団体	個人	団体	無料	無料
¥800	¥700	¥500	¥400	¥300	¥200		

\*団体は20名以上（団体引率者は10名につき1名免除）、障害者の介護人（1名）免除

#### ○割引・特典制度

- ・修学旅行・課外学習グループ割（2名以上のグループ）
- ・小中高生1名以上と同伴している大人の割引（2名まで）
- ・年間パスポート（発行日から1年間有効） 2017年1月2日より発売開始  
大人¥2,500 大学生・高校生¥1,600 中学生・小学生¥1,000

#### ⑤ワークショップ・講座・講演会の実施

漢字学習をテーマとしたワークショップや講座、講演会等を実施。1,417名が受講しました。

#### （2）機関誌の発行

日本語・漢字学習に資する情報誌として、日本語・漢字に関する様々な記事を掲載した「漢検ジャーナル」を発行し、学習者・保護者・教員をはじめ、一般の方々に無料配布しました。

- 「漢検ジャーナル V o l . 18」(平成 28 年 6 月 1 日発行) 発行部数 91.0 万部
- 「漢検ジャーナル V o l . 19」(平成 28 年 10 月 1 日発行) 発行部数 58.6 万部
- 「漢検ジャーナル V o l . 20」(平成 29 年 2 月 1 日発行) 発行部数 64.2 万部

(3) Webサイトの拡充

①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア®」 <http://www.kanjipedia.jp/>

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア」を運営しました。『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに制作したもので、パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句を検索することで、その意味を知ることができます。 230 万 pv/年間

②漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ®」 <http://www.kanjicafe.jp/>

漢字および日本語への興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」を運営しました。『漢検ジャーナル』等で当協会が発信したコンテンツはもとより、巷の漢字・日本語に関する情報を集めて発信していく情報サイトです。 10 万 pv/年間

(4) 漢字文化啓発イベント

①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意義を再認識していただく機会として、1995 年から毎年実施している行事です。毎年年末に、全国からその年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を 12 月 12 日の「漢字の日」に清水寺（京都市）の森清範貫主の揮毫により発表しています。本年は、応募総数 153,562 票のなかから「金」が 6,655 票（4.33%）を集めて 1 位となりました。

②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストを実施し、全国から広く作品を募集しました。第4回目となった今回は、「家族部門」には 16,345 作品、「夫婦・恋人部門」には 1,634 作品、「友人・恩人部門」には 11,497 作品、「自分部門」には 10,468 作品、「その他」には 6,367 作品、合計 46,311 作品の応募がありました。3 月 18 日（土）に表彰式を行い、受賞者に賞状・副賞を授与しました。

- ・絆大賞(各部門につき 1 作品) 計 4 作品
  - ・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき 1 作品) 計 4 作品
  - ・審査員賞(各部門につき 3 作品) 計 12 作品
  - ・佳作 計 40 作品
  - ・特別賞 3 作品
- 合計 63 作品

応募のあった「贈りたい漢字」は計 1,736 字でした。

4 部門を合計した「贈りたい漢字」は、「感」が最も多く、順に「笑」「謝」「楽」「友」「愛」「優」「幸」「夢」「努」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	家族部門	夫婦・恋人部門	友人・恩人部門	自分部門
1 位	感	愛	友	努
2 位	謝	謝	笑	夢

3位	笑	笑	感	楽
4位	愛	幸	楽	笑
5位	優	支	謝	信

なお、昨年第3回の受賞作品を冊子化し、全国の小・中・高校と公立図書館に約60,000冊を寄贈しました。本年第4回の受賞作品も同様に冊子化し、寄贈する予定です。

#### (5) 全国の漢字同好会への活動助成

日本漢字能力検定（以下、「漢検」）の上位級（1級・準1級）の合格者が主なリーダーとなって、日本語・漢字の学習や漢検の対策学習等に励む漢字同好会があります。会報誌の発行や地域に開かれた勉強会の開催、広く一般を対象とした講演会・イベント等の活動、学校や地域公民館などへの学習ボランティア講師の派遣などを奨励し、地域の日本語・漢字学習の普及啓発・支援を担ってもらうために、同好会活動費の助成を行いました。新たな同好会結成にも積極的な支援を行うため、ホームページで公募し、各団体の活動内容を公表しました。

##### 【助成対象同好会】

北海道漢字同好会・福島県漢字同好会・新潟漢字同好会・石川漢字友の会

#### (6) 支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢検の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

##### 【対象および支援者数】

・要保護児童生徒（義務教育課程在籍者）	延べ403団体	1,044名
・児童自立支援施設	延べ129団体	2,295名
・児童養護/情緒障害児短期治療施設	延べ145団体	4,042名
・東日本大震災の被災地支援		
被災児童・生徒の漢検無償受検	延べ147団体	12,527名
学習教材の無償提供	延べ120団体	11,376冊
義援金・寄付金：200万円		

## 2. 日本語・漢字に関する調査および研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面から研究する漢字文化研究や日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動ならびに日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

#### (1) 漢字文化研究

##### 日中韓共通語彙集編纂プロジェクト

日中韓賢人会議（\*1）で提言された日中韓共通常用漢字808字を活用し、日中韓で使う漢字語彙集を編纂するプロジェクトが日中韓三国事務局<Trilateral Cooperation Secretariat, TCS>（\*2）の主導で開始され、本プロジェクトの日本側の研究・語彙選定作業を担当。本年度は、以下2回の検討会に参加しました。

##### 日中韓共通漢字語彙集編纂検討会

第1回 2016年11月11日 於：中国人民大学（北京）

第2回 2017年3月31日 於：漢検 漢字博物館・図書館（京都）

（\*1）日中韓の有識者が三カ国や東アジアの協力について議論し提言をまとめるフォーラム。日

本経済新聞社、中国の新華社、韓国の中央日報が協力して、平成 18 年に設立。現在の各国の団長は、福田康夫元首相、曾培炎・前国務院副総理（中国）、李洪九・元国務総理（韓国）。

（\*2）日中韓三国の平和と繁栄を促進するために設立された国際機関。三国政府によって署名及び批准された協定に基づき、2011 年 9 月に韓国・ソウルで正式に活動を開始。

（2）日本語・漢字教育研究

検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

- ・受検結果データの調査分析（読み・書きの正答率調査等）
- ・書き問題における誤答傾向の調査
- ・中学校の各国語教科書で使われる漢字語彙の頻出調査

（3）顕彰

漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究、調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され有望視される学術に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。当年度は 13 点の論考が寄せられ、以下 2 名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第 7 号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最優秀賞	該当なし	
優 秀 賞	該当なし	
佳 作	藤田 拓海 二松学舎大学非常勤助手	「乾（カン）」「軋（ケン）」字考
佳 作	三浦 直人 明治大学大学院文学研究科 史学専攻日本史学専修 博士前期課程 2 年	伊藤博文をハクブンと呼ぶは「有職読み」にあらざ ー人名史研究における術語の吟味ー

（4）助成

漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行いました。当年度は、応募数 23 団体のうち、以下 4 団体の教職員の研究活動を選定しました。平成 28 年度の研究活動報告は、「漢字・日本語教育研究第 6 号」としてまとめるとともに、協会ホームページで公開します。

団体名	代表者	研究テーマ
関西国際大学	伊藤 創	日本語における事態の捉え方・描き方の「型」の解明と その習得に関する研究 ー英語・インドネシア語・ベトナム語・タイ語との比較 ー (研究助成期間：平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月)

青山学院大学	穂積 宏誠	文章構造に基づく難易度推定と教育への活用方法の検討 (研究助成期間：平成28年4月～平成29年9月)
徳島大学	佐藤 裕	小学生における漢字の形態・音韻・意味処理に対する脳活動の発達的变化 (研究助成期間：平成28年4月～平成30年3月)
神戸市立工業高等専門学校	林田 定男	ループリックの作成と共有を核にした授業モデルの構築 (研究助成期間：平成28年4月～平成30年3月)

### 3. 日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、講習会、研修会、セミナー、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

#### (1) 「日本漢字能力検定」の実施報告

##### ①検定級および検定料

1級：5,000円 準1級：4,500円 2級：3,500円 準2級・3級・4級：2,500円  
5級・6級・7級：2,000円 8級・9級・10級：1,500円

##### ②実施日

当年度は以下の13日程で実施した。

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	平成28年6月19日(日)	1～10級	平成28年6月4日(土)	2～10級
			平成28年6月17日(金)	2～10級
			平成28年6月19日(日)	2～10級
			平成28年7月8日(金)	2～10級
第2回	平成28年11月6日(日)	1～10級	平成28年8月23日(火)	2～10級
			平成28年10月21日(金)	2～10級
			平成28年10月29日(土)	2～10級
			平成28年11月4日(金)	2～10級
			平成28年11月6日(日)	2～10級
第3回	平成29年2月5日(日)	1～10級	平成29年1月13日(金)	2～10級
			平成29年1月28日(土)	2～10級
			平成29年2月5日(日)	2～10級
			平成29年2月10日(金)	2～10級

##### ③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	162	164	164	490
準会場	13,015	16,736	13,402	43,153
合計	13,177	16,900	13,566	43,643

④漢検 CBT (Computer Based Testing)

通常の年3回13日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数	志願者数
公開会場	38	24,412
準会場	81	1,310
合計		25,722

⑤志願者数・受検者数・合格者数

平成28年度の志願者数は2,041,649人でした。

回・級ごとの内訳は次のとおりです。\*漢検 CBT 志願者を含む

28年度総計													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	4,140	15,351	182,760	332,700	535,088	274,687	210,090	111,214	107,109	104,711	89,791	74,008	2,041,649
受検者数	3,542	13,060	170,856	319,140	514,244	263,274	201,551	107,042	103,227	100,418	86,523	70,530	1,953,407
合格者数	368	2,489	36,294	101,390	240,513	131,796	145,435	84,791	89,102	85,172	77,932	67,022	1,062,304
合格率(%)	10.4%	19.1%	21.2%	31.8%	46.8%	50.1%	72.2%	79.2%	86.3%	84.8%	90.1%	95.0%	
<b>1級～10級平均合格率</b>												<b>54.4%</b>	
第1回													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,461	5,363	64,565	113,047	166,270	82,858	71,499	28,216	25,111	25,117	20,280	17,043	620,830
受検者数	1,279	4,640	61,074	109,478	161,524	80,202	69,179	27,341	24,354	24,317	19,790	16,393	599,571
合格者数	67	1,166	11,643	30,731	73,723	40,009	49,855	21,727	20,886	20,602	17,847	15,829	304,085
合格率(%)	5.2%	25.1%	19.1%	28.1%	45.6%	49.9%	72.1%	79.5%	85.8%	84.7%	90.2%	96.6%	
<b>1級～10級平均合格率</b>												<b>50.7%</b>	
第2回													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,391	4,997	55,541	112,782	214,280	104,334	65,472	31,753	29,499	27,606	23,543	17,974	689,172
受検者数	1,180	4,234	51,799	108,344	207,052	100,624	62,920	30,565	28,523	26,429	22,705	17,121	661,496
合格者数	144	657	11,276	34,800	97,910	48,919	43,598	23,247	24,331	22,023	20,121	16,214	343,240
合格率(%)	12.2%	15.5%	21.8%	32.1%	47.3%	48.6%	69.3%	76.1%	85.3%	83.3%	88.6%	94.7%	
<b>1級～10級平均合格率</b>												<b>51.9%</b>	
第3回													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,288	4,991	62,654	106,871	154,538	87,495	73,119	51,245	52,499	51,988	45,968	38,991	731,647
受検者数	1,083	4,186	57,983	101,318	145,668	82,448	69,452	49,136	50,350	49,672	44,028	37,016	692,340
合格者数	157	666	13,375	35,859	68,880	42,868	51,982	39,817	43,885	42,547	39,964	34,979	414,979
合格率(%)	14.5%	15.9%	23.1%	35.4%	47.3%	52.0%	74.8%	81.0%	87.2%	85.7%	90.8%	94.5%	
<b>1級～10級平均合格率</b>												<b>59.9%</b>	

※志願者数には、本協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により受検を次回実施日に繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

⑥資格活用状況調査

全国の大学、短期大学、高等学校、専修学校における「漢検」の活用状況を調査しました。



入学試験だけでなく入学後にも「漢検」を活用している大学、短期大学、高等学校、専修学校に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果はホームページ及び資料にまとめ、公表しました。

⑦成績優秀者表彰

「漢検」において、漢字学習に取り組んでいる人の努力を賞し、励みとする目的で、3月30日（木）に成績優秀者表彰式を行いました。受賞者の内訳は次のとおりです。

本年度は、個人賞として179名と6組の家族に、団体賞として413団体に各賞を授与しました。

**個人賞**

◇日本漢字能力検定協会賞	1～10級	合計36名
◇全国検定振興機構理事長賞	1～10級	合計36名
◇優秀賞	1～10級	合計37名
◇奨励賞	1～10級	合計67名
◇特別賞		
<個人の部> 級を問わず年間での最高齢合格者		1名
1級・準1級各級の最年少合格者		2名
<家族の部>		6組

**団体賞**

◇最優秀団体賞	20団体
◇優秀団体賞	116団体
◇奨励賞	177団体
◇特別賞	100団体

⑧各種表彰制度

・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、合格証書・合格証明書・検定結果通知に加えて「満点賞」の賞状を授与しました。当年度の授与者は延べ32,851名でした。

・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は6,827件でした。

・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1日程の志願者数80名以上または年間累計志願者数80名以上の条件を満たした希望団体602団体に725セットを送付しました。

(2)「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実施報告

①実施日

- 第32回〈平成28年度第1回〉平成28年 6月26日（日）
- 第33回〈平成28年度第2回〉平成28年 11月20日（日）

②実施地

国内：福島、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、広島、福岡、大分

海外：中国（長春・瀋陽・北京・大連・天津・青島・南京・上海・蘇州・杭州・成都・重慶・  
広州・深圳・西安・合肥・香港）

台湾（台北・台中・高雄）・韓国（ソウル・釜山）・タイ（バンコク）

ベトナム（ハノイ・ホーチミン）・マレーシア（クアラルンプール・コタバル）

インドネシア（ジャカルタ）・ミャンマー（ヤンゴン）

③受験料 7,000円（日本国内）

④申込者数・受験者数

	申込者数	受験者数
国内	2,869名	2,575名
海外	3,322名	3,036名
総計	6,191名	5,611名

⑤I-BJT（団体向けテスト）の実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受験できる I-BJT を 18 団体に提供し、420 名が受験しました。

(3)「文章読解・作成能力検定」の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を準会場（団体受検）のみで実施しました。

①検定級および検定料

2級：4,000円 準2、3級：3,000円 4級：2,000円

②実施日

準会場日程	対象級
平成28年8月23日（火）	準2～4級
平成28年10月22日（土）	2～4級
平成28年11月4日（金）	準2～4級
平成29年1月28日（土）	2～4級
平成29年2月10日（金）	準2～4級

③会場数

	第1回	第2回	計
準会場	114	110	224

④志願者数・受検者数・合格者数

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	152	1,376	5,724	3,558	10,810
受検者数	139	1,276	5,368	3,269	10,052
合格者数	90	887	4,285	2,563	7,825
合格率(%)	64.7%	69.5%	79.8%	78.4%	
	<b>2級～4級平均合格率</b>				<b>77.8%</b>

## ⑤文章力テストの実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受検できる文章力テストを実施し、2,224人が受検しました。

## ⑥資格活用状況調査

全国の大学、短期大学における「文章検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「文章検」を活用している大学、短期大学に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果はホームページ及び資料にまとめ、公表しました。

## (4) 学習支援講座

## ①漢字教育サポーター紹介制度

漢検の上位級（1級・準1級）の合格者で、一定の専門的知識を有している者（「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者）を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介する学習支援活動を行いました。

漢字教育サポーター登録者数：508名（1期～5期合計）

## ②漢検生涯学習ネットワーク研修会

漢検1級・準1級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。当年度で会員数は8,665名に達しました。会員向けの通信を年4回発行（ホームページでも公開）し、研修会を3回開催しました。

## 第16回研修会

日 時：平成28年7月3日（日） 10:30～12:15、13:30～15:15（2回）

場 所：京都市・漢検漢字博物館・図書館

講 演：『漢字のあゆみとしくみ』

阿辻 哲次 氏（京都大学大学院人間・環境学研究科教授／当協会評議員）

参加者：122名

## 第17回研修会

日 時：平成28年9月18日（日） 13:30～16:30

場 所：東京都・アルカディア市ヶ谷

講 演：『甲骨文字の「解読」を考える』

鈴木 敦 氏（茨城大学人文学部教授）

研究発表：『金文をめぐる冒険－生涯学習の取り組みから－』

吉田 敏治 氏（漢検生涯学習ネットワーク会員）

参加者：139名

## 第18回研修会

日 時：平成28年12月18日（日） 13:30～16:10

場 所：名古屋市・愛知産業労働センター ウィンクあいち

講 演：『日本の漢字音の源流－とくに漢音について－』

吉池 孝一 氏（愛知県立大学外国語学部／大学院国際文化研究科教授）

参加者：42名

## ③漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成するため、「漢字教育サポーター育成講座」を希望者向けに開講しました。講座は立命

館大学白川静記念東洋文字文化研究所が主催する「漢字教育士」認定講座のカリキュラムに基づいたWebでのビデオオンデマンド講座で、1年間に4科目、全80時間の講義の視聴と確認テストを行い、合格者81名を修了認定しました。

#### (5) 学習支援セミナー

漢字能力の確実な獲得や伸長とともに、学生の文章作成能力をいかに高めるかの指導法等を提案する学習支援セミナーを教員を対象に札幌・東京・大阪・広島・福岡の5会場で各都道府県教育委員会並びに市教育委員会の後援（一部協賛）を得て開催しました。

内 容（各会場同じ）：

「短時間でできる効果的な文章指導法」～作文を書かせなくても、文章能力は高められる！～  
佐竹秀雄（当協会現代語研究室 室長、元武庫川女子大学 言語文化研究所長）

札幌会場（後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会）

日 時：平成28年7月29日（金）14:00～16:00

場 所：TKP 札幌駅カンファレンスセンター

参加者：75名

東京会場（後援：東京都教育委員会）

日 時：平成28年8月1日（月）14:00～16:00

場 所：TKP 東京駅大手町カンファレンスセンター

参加者：255名

大阪会場（後援：大阪府教育委員会・大阪市教育委員会）

日 時：平成28年8月3日（木）14:00～16:00

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪駅前

参加者：246名

広島会場（協賛：広島県教育委員会・後援：広島市教育委員会）

日 時：平成28年8月8日（月）14:00～16:00

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前

参加者：72名

福岡会場（後援：福岡県教育委員会・福岡市教育委員会）

日 時：平成28年7月25日（月）14:00～16:00

場 所：福岡センタービル会議室

参加者：98名

#### (6) 学習支援講演会

平成28年2月に文化庁より発表された「常用漢字表の字体・字形に関する指針」の内容理解を通して、漢字の奥深さ・多様性についての理解を深める講演会を教員を対象に東京・京都・大阪の3会場で開催しました。

内 容：

「漢字の面白さ、懐の深さ」

～早稲田大学 笹原教授、奈良教育大学 棚橋教授、文化庁 武田国語調査官をお迎えして～

① 『「常用漢字表の字体・字形に関する指針」』についての報告 武田 康宏（文化庁 国語調査官）

- ②「学びの力を支える漢字指導を考える」棚橋 尚子（奈良教育大学 教授）※京都・大阪会場
  - ③「漢字の形 ～漢字をどう書くか～」笹原 宏之（早稲田大学 教授）※東京会場
  - ④「『日本漢字能力検定（漢検）』の採点について」八田 香里（当協会検定・編集部 部長）
- 注）①および④は全会場共通

東京会場

日 時：平成 28 年 8 月 10 日（水） 13:00～15:30  
場 所：千代田区立内幸町ホール  
参加者：166 名

京都会場

日 時：平成 28 年 8 月 9 日（火） 13:00～15:30  
場 所：漢検 漢字博物館・図書館  
参加者：79 名

大阪会場

日 時：平成 28 年 8 月 22 日（月） 13:00～15:30  
場 所：梅田スカイビル スカイルーム  
参加者：82 名

## (7) 教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

・辞書（漢検四字熟語辞典、漢検漢字辞典）	6,902 冊
・参考書（漢検要覧）	1,930 冊
・問題集（漢検 漢字学習ステップ 2～10 級）	417,334 冊
・問題集（漢検 過去問題集 1～10 級）	223,562 冊
・問題集（漢検 分野別問題集 1～6 級）	67,065 冊
・問題集（漢検 10 日間でできる練習問題 2～6 級）	22,352 冊
・問題集（ハンディ漢字学習 2～6 級）	28,104 冊
・問題集（実力完成ドリル ステージ 2～6 級）	18,695 冊
・問題集（漢検 漢字学習トレーニング 3/準 2/2 級・5/4/3 級）	22,613 冊
・問題集（漢検ダイレクト 2 級～6 級、ほか指導ポイントつき）	14,682 冊
・問題集（いちまるとはじめよう！わくわく漢検 5～10 級）	77,331 冊
・問題集（実物大過去問！ 本番チャレンジ！）	94,250 冊
・問題集（基礎から学べる！ 文章カステップ準 2～4 級）	19,700 冊
・問題集（文章検公式テキスト 2～4 級）	14,174 冊
・問題集（BJT）	3,125 冊
・その他	70 冊
合 計	1,031,889 冊

## II. 漢字博物館・図書館の開館および本部事務所移転

京都市立中学校跡地を活用した、漢字・日本語の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学べる「漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）」を平成 28 年 6 月 29 日に開館しました。なお、本部事務所は同館の開館に先立ち、平成 28 年 5 月 6 日に同地に移転しました。

## Ⅲ. 理事会・評議員会に関する事項

開催日	場所	出欠状況	議題／報告事項
定例理事会 平成28年6月7日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 9名 欠席理事 2名  出席監事 1名 欠席監事 1名	1. 「平成27年度事業報告書(案)」承認の件 2. 「平成27年度決算報告書(案)」承認の件 3. 「内閣府提出の平成27年度事業報告等に係る概要」承認の件 4. 「定時評議員会の招集」決議の件 5. 「執行役員の選任と事務局長の任命、並びに担当部門」決議の件  報告1. 「最近の協会動向」について
定時評議員会 平成28年6月24日	当協会 京都本部 会議室	出席評議員 10名 欠席評議員 1名  出席理事 3名 出席監事 2名	1. 「平成27年度決算報告書(案)」承認の件  報告1. 「平成27年度事業報告書」について 報告2. 「内閣府提出の平成27年度事業報告等に係る概要」について 報告3. 「『役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程』の定款条文の整合」について 報告4. 「漢検協会の最近の動向」について
臨時理事会 平成28年7月19日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 7名 欠席理事 4名  出席監事 2名 欠席監事 0名	1. 「漢字博物館・図書館内の契約」承認の件 2. 「平成28年8月1日付(以降)の部長人事」承認の件  報告1. 「協会への協賛金の申し入れへの対応」について 報告2. 「新刊『マンガで学ぶ日本のビジネス習慣(仮称)』」について 報告3. 「新刊『文章力 ステップ準2級』」について
定例理事会 平成28年9月2日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 9名 欠席理事 2名  出席監事 1名 欠席監事 1名	1. 「平成28年度 書籍廃棄」承認の件 2. 「『漢検 漢字博物館・図書館運営規程』の制定および『漢検 漢字博物館・図書館アドバイザー会議規程』改定」承認の件 3. 「漢字博物館・図書館アドバイザー会議メンバー再任」承認の件  報告1. 「平成28年7月末時点の決算概算予想」について 報告2. 「常勤理事の職務執行の状況報告」について 報告3. 「漢字ミュージアムの入場者数と収入」について
定例理事会 平成28年12月2日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 10名 欠席理事 1名  出席監事 2名 欠席監事 0名	1. 「『BJT CBT化以降の国内外実施体制(2017年度)』受験料決定」承認の件 2. 「評議員への個別業務委嘱」承認の件 3. 「公印規程 改定案」承認の件  報告1. 「平成28年7月決算および期末予想」について 報告2. 「協会の最近の動向」について 報告3. 「平成29年度 理事会・評議員会開催日」について
定例理事会 平成29年3月3日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 8名 欠席理事 3名  出席監事 2名 欠席監事 0名	1. 「平成29年度事業計画書(案)」承認の件 2. 「『平成29年度収支予算書』及び『資金調達及び設備投資の見込み』(案)」承認の件 (報告) 「平成28年度期末予想」 3. 「特定費用準備資金の積立および取崩計画」承認の件 4. 「評議員選定委員の選任と委員会の招集」決議の件 5. 「評議員選定委員会へ推薦する評議員候補者」承認の件 6. 「3月度臨時評議員会の招集」決議の件 7. 「民事訴訟の対応」承認の件 8. 「定款の変更」承認の件 9. 「就業規則改定」承認の件  報告1. 「常勤理事の職務執行の状況報告」について

開催日	場所	出欠状況	議題／報告事項
臨時評議員会 平成29年3月16日	当協会 京都本部 会議室	出席評議員 8名 欠席評議員 3名  出席理事 3名 出席監事 1名	1. 「定款の変更」承認の件  2. 「評議員選定委員会へ推薦する評議員候補者」承認の件  報告1. 「平成29年度事業計画書」について 報告2. 「平成29年度『収支予算書』及び『資金調達・設備投資の見込み』」について 報告3. 「民事訴訟の対応」について 報告4. 「平成29年度評議員会開催日」について

## IV. 法人の課題

### 民事訴訟

元正副理事長2名及び関連4社の計6者に対する不当利得の返還及び損害賠償を求める訴訟に関して、京都地方裁判所で当法人の主張がほぼ全面的に認められた判決が下されましたが、今後は控訴審で審理される見込みのため、引き続き司法の場での適切な解決を目指します。

## V. 後発事象

特記事項はありません。

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

平成29年 6月

公益財団法人 日本漢字能力検定協会